

- ・朝4時起床。太陽の気配無く風が冷たい。時々霧雨模様。現在気温 11 。
車中泊の連中がぞろぞろ起きだしてくる。
軽のバンからご夫婦が出てきた。かなり窮屈そうだが、これから3週間北海道を回る予定とか。
デカイ車からはおやじが一人、これから40日間くらい回るそうだ。なんとどちらも愛媛県から来ていて、ここで偶然一緒に！ 北海道の道の駅はこんな様子でその朝が始まる。



日本最北端の地・宗谷岬



宗谷岬から宗谷海峡を望む

- ・パンの朝食をすませ、小雨の降る中を7:00稚内に向けて出発。
ダ・カーポの歌う「宗谷岬」の曲が流れる日本最北端の地・宗谷岬で写真を撮り、稚内港を素通りして宗谷湾西端のノシャップ岬へ行く。
- ・9時前だというのにもう観光バスが何台もやってきてかなり混雑している。
人の切れ間にすかさず写真を撮る。
9時過ぎに稚内港に戻り利尻島鴛泊行きのフェリーの切符を購入(1800円)。



ノシャップ岬

- ・フェリーの出航が11:10 まだかなり時間があるので、稚内の公園を散歩して時間をつぶした。
車は港の裏にある市営のただっ広い駐車場に止めた。同じように利尻や礼文に行く人が止めているのだろう、本土ナンバーの車がかなり止まっている。これから四日間も止めておくのでいたずらされないよう交差点の角で信号機のある明るいところに止めた。
- ・11:10 予定通りどんよりと曇った稚内港を出航。風は無いので航海は穏やかだ。
約1時間40分の航海で利尻島鴛泊港に



姫沼展望台

- ・宿「まるぜん」のお姉さんが迎えに来てくれていて車ですぐ近くの宿へ。
- ・私が今夜寝るところは屋根裏部屋、4、5人寝られる広さがあるが一人だそうだ。
- ・夕食まで時間があり、雨も降っていないので傘一本持って散歩に出る。
海岸線の車道を西へ約1時間、姫沼展望台にたどり着く。先にある姫沼へは観光バスが何台も向かって行ったがまだ登りが相当ありそうで夕食までに間に合いそうも無いので姫沼展望台で引き返した。

・帰り道の途中道端で
リシリヒナゲシが栽培されていた。

明日の利尻山が楽しみだ。

道端で栽培されているリシリヒナゲシ



・鴛泊港に戻りまだ時間があるので、
港の右岸に聳えるペシ岬へ登ってみた。
簡単に登れそうに見える小高い山の岬だが、
どうして かなりの急坂できつい山道だ。
結局往復1時間弱もかかった。
でもすばらしい眺めだった。



ペシ岬から望む鴛泊港



ペシ岬灯台

・夕食はフェリーターミナル2階の お宿「まるぜん」の経営する食堂で豪華に海の幸満載。
・明朝はとうとう利尻岳登山の実現。4時出発予定のため宿に戻るとすぐ寝た。

[見られた花] 6種(名前のわかったもの 4種 + 名前不詳 2種)
・ハクサンチドリ ・リシリヒナゲシ ・センダイハギ ・ミヤマオダマキ